



第74号

2020年3月9日発行

発行⇒郵政産業労働者ユニオン中国地方本部
Tel&Fax⇒082-244-7719
piwu-chugoku@abelia.ocn.ne.jp
http://www.piwu-chugoku.net/

郵政産業労働者ユニオン中国

第3四半期決算

要求に応える体力はある

数料収入は減ったものの、営業販売に関わる人件費などの経費が減ったことで純利益1150億円もの増益となっています。

グループ各社すべてが増益であり、純資産でも8668億円増の15兆6554億5700万円となっています。

の要求に応えるだけの体力は十分にあると考えています。「郵便局」への信頼が揺らぐ昨今、労働者の努力が報われてこそ健全な経営に修正できたと広く国民にアピールできるはずです。

日本郵便
取扱数量は、ゆうメールが1・8%減、郵便物が0・5%減となったものの、ゆうパック（ゆうパケットを含む）が0・6%増となっています。中でもゆうパケットは18・7%増ということで増収の一役を買っています。

ゆうちょ銀行
かんぽ問題の影響で投資信託の販売を自粛していることや金利が低位で推移する経営環境下でありながら2100億円の純利益を上げています。

かんぽ生命
かんぽ生命保険の不正契約の問題をめぐって、去年7月から新規の保険販売を自粛しています。その影響で保険の手

しかし金融窓口事業では、かんぽ商品の積極的な営業活動を控えたことで減収となっています。全体では1359億円の純利益を上げています。

郵政ユニオンは、今春闘要求の3本の柱である「大幅賃上げ」「非正規社員の均等待遇と正社員化」「大幅増員と長時間労働の是正」を中心とした主張の全面展開を行なっています。

第3四半期決算を踏まえたうえで、私たちが

■ 2020年3月期 第3四半期（累計）の経営成績 (億円)				
	日本郵政グループ	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	90,545	29,321	13,584	54,615
前年同期比	Δ 5,283 (Δ 5.5%)	Δ 715 (Δ 2.4%)	Δ 262 (Δ 1.8%)	Δ 4,517 (Δ 7.6%)
経常利益	6,888	1,531	2,892	2,339
前年同期比	+ 500 (+ 7.8%)	+ 167 (+ 12.3%)	+ 74 (+ 2.6%)	+ 199 (+ 9.3%)
四半期純利益	4,220	1,359	2,100	1,150
前年同期比	+ 298 (+ 7.6%)	+ 120 (+ 9.7%)	+ 67 (+ 3.3%)	+ 183 (+ 19.0%)
■ 2020年3月期 通期業績予想				
経常利益	7,100	1,250	3,750	2,700
(3Q進捗率)	(97.0%)	(122.5%)	(77.1%)	(86.7%)
当期純利益	4,200	1,000	2,700	1,340
(3Q進捗率)	(100.5%)	(135.9%)	(77.8%)	(85.8%)